

# 高木研究室における研究成果の仕様

## 1 提出メディア

- 論文は、A4 サイズの紙媒体とする
- CD 或いは、DVD を添付すること
- 指導教員用と研究室用の 2 部作成すること
- ファイルに綴じ、表紙と背表紙を必ずつけること

## 2 ドキュメントのフォーマット

- L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 書類
- MS-WORD 書類
- MS パワーポイント書類
- PDF 書類
- テキスト書類

## 3 画像データのフォーマット

- ER-Mapper 形式、GeoTIFF、ESRI ASCII GRID を標準とする
- Tiff, BMP, JPEG 等の場合は、ワールドファイル (.tfw, BMPW, 等) かメタデータを付記すること
- Raw 形式の場合は、画像サイズやバンド数、左上の地上座標を記したテキストファイルを添付すること
- 必ず各画像のファイルの意味をドキュメントとして保存すること

## 4 GIS データのフォーマット

- Arc/Info カバレッジ形式、Shape, DXF を標準とする
- テキスト形式の場合は、Arc/Info generate コマンド用の仕様とすること
- その他のデータは、フォーマット仕様書を添付すること
- データファイルの意味をドキュメントとして保存すること

## 5 提出メディアにおけるディレクトリ構造

### 5.1 Paper：論文を保存する

- FullPaper.tex か, FullPaper.doc
- 図表は, EPS, TIFF, PNG, GIF,

### 5.2 Program：研究室にて作成したプログラムを保存する

- サブディレクトリを作成し, 分かりやすくすること
- プログラムの仕様, マニュアルも添付すること

### 5.3 Data：使用したデータや結果画像・データをすべて保存する

- サブディレクトリを作成し, 分かりやすくすること
- 例えば, Images, GIS, MODIS, IKONOS 等
- サンプルデータ, 中間データも含めて保存すること
- データの仕様も添付

### 5.4 Conference：学会発表論文等を保存する

- 学会ごとにサブディレクトリを作成する
- 論文と発表書類を保存する

### 5.5 Other：その他, 必要と思われるものを保存

- 学会以外のセミナー等で発表した資料等

## 6 論文の仕様

### 6.1 目次のひな形

- タイトルページ
- 目次
- 図目次
- 表目次

- 1. 序論
  - 1.1 背景
  - 1.2 目的
  - 1.3 構成
- 2. 解析手法
- 3. 対象地域
- 4. データ取得法
- 5. 解析結果
- 6. 結論
- 7. 参考文献
- 付録
- 章ごとに改ページする
- 章節図表のタイトルはゴシック体，内容は明朝体とする

## 6.2 図表

- 画像，写真も図とする
- 全ての図表には，番号とタイトルをつける
- 図表の番号は，章ごとにカウントする（例：図 3.1）
- 図のタイトルは下に，表のタイトルは上に付ける
- グラフ，表には必ず単位をつける
- グラフの軸のタイトルも忘れないようにつける
- 全ての図表は，必ず本文の中で説明すること

## 6.3 式

- 式の番号は，図に準ずる
- 式に用いた変数名・定数名は必ず，式の下に説明を加える。
- 変数は，イタリック体で記述する

## 6.4 付録

- 研究活動において開発したプログラムを添付する
  - プログラムの使用のマニュアルを作成する
- 研究で用いた重要なデータを添付する
  - データには，必ずメタデータを添付する